

1 総合戦略の位置づけ

国では、平成 26（2014）年 12 月に、本格的な人口減少社会と地域経済の縮小に対応するための対策として、その後の 5 年間の目標や施策の基本的方向をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、全国の自治体に示しました。

これを受け、本市では、平成 27（2015）年度に、「多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、これまでの 6 年間※、市民、企業、行政などが一体となって、人口減少克服・地方創生に向けた取り組みを推し進めてきました。

国が第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元（2019）年 12 月）を策定したことを受け、本市のこれまでの取り組みをさらに加速させ、地方創生の実現に向けた新たなステップを踏み出すべく、令和 7（2025）年度までの 5 年間に期間として、第 2 期「多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、第 2 期総合戦略という。）を策定します。

※計画期間については、当初、平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間であったが、第 2 期「多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を第 5 次多久市総合計画と一体的に推進を図るため、令和 2 年度まで延長（令和元年度改訂）

【総合計画及び総合戦略と人口ビジョンの関係】

項目	計画期間	概要
総合計画	令和 3 年度～12 年度 (10 年間)	市の最上位計画
総合戦略	令和 3 年度～7 年度 (5 年間)	総合計画のうち、 人口減少・地方創生関連施策に特化した計画
人口ビジョン	令和 3 年度～ (約 40 年間)	総合戦略の前提となる、 人口動向や将来展望を踏まえた基本的な方向を示す計画

VI 第2期「多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

2 総合戦略の構成

第2期総合戦略は、4つの基本目標を定め、各基本目標に対し、目標の実現に向けた基本的方向、数値目標、具体的な施策、重要行政評価指標（KPI）で構成しています。

なお、市として一つの大きな計画の下、総合的かつ一体的にまちづくりに取り組んでいくため、第2期総合戦略については、第5次多久市総合計画と統合することとしており、第2期総合戦略で取り組むべき具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）については、基本計画の中にすでに記載をしています。

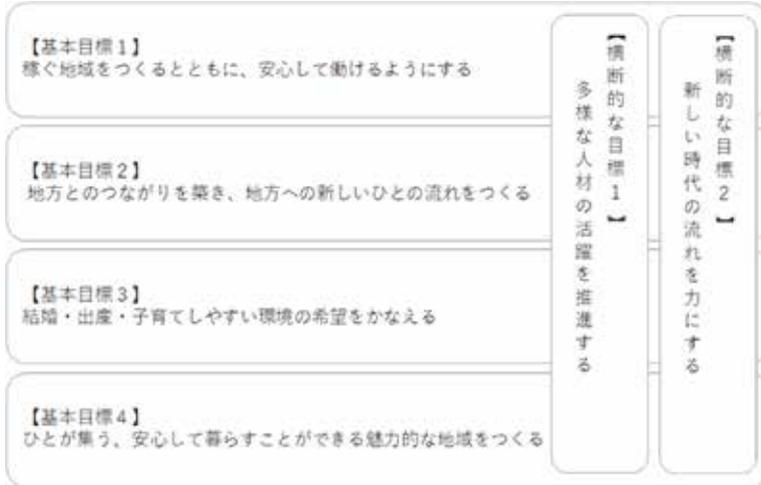
したがって、本章では、第2期総合戦略における基本目標及び基本的方向、数値目標などを明確にした上で、具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）については、記載をしているページなどを示すことに留めます。

項目	説明
基本目標	人口の現状と将来の展望を踏まえた上で、それぞれの地域の実情に応じながら、一定のまとまりの政策分野ごとに、国及び県が示す戦略や基本目標を踏まえ設定する目標
基本的方向	基本目標の達成に向けてどのような施策を推進していくかの方向性を定めたもの
数値目標	基本目標について、目標設定や効果検証などを行う上での指標
具体的な施策	基本目標ごとに、それぞれの地域の実情に応じながら計画期間（5年間）のうちに実施する具体的な施策
重要業績評価指標（KPI）	具体的な施策について、目標設定や効果検証などを行う上での指標

3 基本目標

本市の将来像「緑園に輝くまち 多久～時流を感じる 文教・安心・交流・協働のまち～」の実現に向け、国の第2期総合戦略の趣旨を踏まえて、次の4つの基本目標を定め、人口減少克服・地方創生に取り組みます。なお、2つの横断的な目標については、4つの基本目標を達成するための手段として位置づけます。

■国の基本目標



■本市の基本目標



4 基本的方向・数値目標

基本目標 1 多久市の資源を活かし、稼ぐ地域をつくるとともに、誰もが安心して働ける環境をつくる

- 就職や転職などを機とした若い世代の流出をとどめ、地域外から呼び込むため、既存産業の発展・持続を図ることはもとより、企業誘致や起業支援などにより、若い世代がやりがいや魅力を感じる仕事を創出します。
- 多様化するライフスタイル・ワークスタイルに対応する働き方を推進し、幅広い世代が活躍することのできる地域社会を形成します。

（横断的目標の視点）

- ・情報通信基盤を活用した IT 関連産業等の誘致（横断的目標 1）
- ・クラウドソーシングワーカーの育成による多様な人材の活躍促進（横断的目標 1・2）

【数値目標】

目標指標	基準値(R1)	目標値(R6)
納税義務者 1 人あたり課税対象所得	2,457 千円	2,457 千円

基本目標 2 多久市の魅力を PR し、新しい人のつながり・流れをつくる

- 多くの人に本市への興味を持ってもらい、将来の移住・定住につなげるため、本市の歴史や自然を生かした観光による交流の充実を図るとともに、農業体験など本市での暮らしを体験してもらい取り組みや、ふるさと応援寄附などを通じて、本市との強いつながりを築きます。
- 本市からの人口流出が多い若い世代を中心とした移住・定住を促進するため、ソーシャルメディア*などを活用して、本市の魅力を発信するとともに、定住奨励金制度や空き家の活用などにより、若者の UIJ ターンを促進します。

【数値目標】

目標指標	基準値(R1)	目標値(R6)
純移動数	▲123	±0

Ⅵ 第2期「多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

基本目標 3 多久市の子育て・教育環境を向上し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 若い世代などが希望どおり、子どもを持ち、安心して結婚・出産・子育てができるよう、出産期や不妊治療への支援に取り組むとともに、子育て支援や保育サービスの充実、各ライフステージにおける経済的な負担の軽減を実施します。
- 本市の未来を担う人材を育成するため、また、子育て世代にとって魅力的なまちとするため、本市の特長である小中一貫教育を充実させ、全国をリードする教育環境を構築するとともに、コミュニティ・スクールを推進し、地域全体で魅力ある学校づくりを行います。

（横断的目標の視点）

- ・ICTを活用した教育環境の充実（横断的目標 2）
- ・地域の多様な人材の活用によるコミュニティ・スクールの推進（横断的目標 1）

【数値目標】

目標指標	基準値(R1)	目標値(R6)
出生数（5年累計）	—	486人

基本目標 4 多久市らしい地域づくりを行い、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 市民にこれからも本市に住み続けたいと思われるまちとなり、また、市外からの移住者を呼び込むため、次のことに取り組むことで、生活環境を維持・充実させます。
 - ・誰もが健康に生き生きと暮らすことができるよう、市民の健康意識を高め、健康管理や健康づくり活動を促進するとともに、医療体制を充実させます。
 - ・環境にやさしい持続可能な地域社会の形成を目指し、廃棄物の減量化やリサイクル率の向上を図るとともに、排水施設の整備により、汚水処理人口を向上させます。
 - ・各地域のコミュニティ機能や防災機能を維持・充実させるため、地域の特色を生かしたコミュニティ活動の継続支援や自主防災組織の育成を行うとともに、地域間をつなぐ地域交通を充実させます。
 - ・ICTを活用し、市民サービスの向上を図るとともに、地域課題の解決を行います。

（横断的目標の視点）

- ・外部人材（地域おこし協力隊等）を活用した地域コミュニティ活動の支援（横断的目標 1）
- ・ICTを活用した市民サービスの向上及び地域課題の解決（横断的目標 2）

【数値目標】

目標指標	基準値(R1)	目標値(R6)
住みやすさ度 （基本目標 4 の KPI のうち、達成できた割合）	—	17 指標中 14

VI 第2期「多岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

5 具体的な施策・具体的な取り組み・重要業績評価指標（KPI）

基本目標	具体的な施策に該当する施策（基本計画）	具体的な取り組み（例）	重要業績評価指標（KPI）（基本計画再掲）	基本計画 該当ページ
1	6-1 農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 経営の持続・安定などへの相談及び助成 担い手の確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 新規認定農業者数 	p.98-102
	6-2 商業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 経営安定や事業承継問題への支援 起業支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規創業者数 開業支援数 	p.103-105
	6-3 工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 製造業やIT関連産業などの誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致実現件数 誘致企業の市内従業員の割合 	p.106-107
	6-2 商業の振興【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> クラウドソーシングワークの育成 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドソーシングワークー育成数 	p.103-105
2	6-4 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 観光・交流拠点の形成（多岐聖廟等） 体験型観光プログラムの提供 天山多岐温泉タワアを活用した観光振興 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客入込客数 体験型観光の利用者数 	p.108-110
	8-1 情報公開と広報公聴の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市HPやSNSを用いた本市のPR 	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページへの訪問者数 SNS登録者数 	p.116-118
	8-3 公正で円滑な自治体経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税を通じた関係人口の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと応援寄附者数（※概数） 	p.121-123
	5-2 住宅施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 定住奨励金による定住支援 空き家バンクによる空き家の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 定住奨励金制度の利用者数 空き家バンク成約数 	p.91-93
3	1-1 学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀型スキルの取得・向上 多岐学（ふるさと教育）の充実 コミュニティ・スクールの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表会や講演会の参加者数 地域学習に取り組みむ学校の割合 地域ボランティアの参加人数 	p.36-39
	1-2 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援や交流の場の提供 多様なニーズに合った保育サービスの提供 児童虐待防止のための体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 児童センター「あじさい」利用者数 保育待機児童数 子ども家庭総合支援拠点対応件数 	p.40-43
	3-2 健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療への治療費助成 支援を必要とする妊婦への家庭訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 「家族外に相談できる人がいる」回答率 「子育てへの住居・環境に満足」回答率 	p.56-59

VI 第2期「多久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

基本目標	具体的な施策に該当する施策（基本計画）	具体的な取り組み（例）	重要業績評価指標（KPI）（基本計画の再掲）	基本計画 該当ページ	
4	3-1	医療体制の充実	・新病院における診療料の拡充・新設	・新たな公立病院整備の進捗度	p.53-55
	3-2	健康づくりの推進【再掲】	・各種健診データを基にした保健指導による生活習慣病の予防	・特定健診受診率 ・メタボ該当率 ・高血圧重症者数 ・糖尿病重症者数	p.56-59
	3-4	高齢者支援の充実	・介護予防・生活支援サービスの充実による生活習慣病の重症化やフレイル予防 ・地域包括ケア体制の深化・推進	・通いの場等の参加率 ・介護保険認定者要支援1・2の1年後の認定結果による改善率	p.62-65
	3-6	社会保障等の充実	・納付時の口座振替の拡大や財産調査等滞り納整理 ・特定健診、特定保健指導による合併症発症や重症化の予防	・国民健康保険税収納率 ・特定健診受診率【再掲】	p.69-70
	4-2	上・下水道の充実	・公共下水道事業、農業集落排水事・浄化槽の整備	・汚水処理人口普及率	p.76-77
	4-3	廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進	・「クリーンヒル天山」と「多久市リサイクルセンター」による適正な廃棄物処理	・市民一人当たりのごみの排出量 ・事業系ごみの排出量 ・一般廃棄物のリサイクル率	p.78-80
	4-4	消防・防災体制の充実	・自主防災組織が実施する防災研修・防災訓練の支援	・自主防災組織等が実施する防災研修・防災訓練延べ実施数	p.81-83
	5-4	公共交通の充実	・ふれあいバス・タクシーの利便性向上	・ふれあいバス・タクシー年間利用者数	p.96-97
	7-1	地域活動・コミュニティ活動の充実	・地域おこし協力隊や集落支援員の配置 ・コミュニティ活動の継続支援	・地域おこし協力隊・集落支援員の配置数	p.111-112
	8-3	公正で円滑な自治体経営の推進【再掲】	・マイナンバーカードの普及 ・ICTを活用した市民サービスの向上	・マイナンバーカード取得率	p.121-123